2020年8月24日

各　位

会　社　名　　モーニングスター株式会社
（コード番号　　４７６５）
（上場取引所　　東京証券取引所 JASDAQ）
代表者　　代表取締役社長 朝倉 智也
開示責任者　　取締役管理部長 小川 和久

「Gomez ESGサイトランキング2020」の発表について

～第1回ESGランキング総合1位は「リコー」が獲得！～

中立的な第三者としての立場からEコマースや各種ウェブサイトの客観的な評価・比較を行うモーニングスター株式会社（以下、「当社」）は、「ESG サイトランキング 2020」を Gomez のウェブサイト（https://www.gomez.co.jp/）で発表しました。

世界的な ESG 投資の拡大やサステナビリティに対する関心の高まりを背景に、国内の上場企業では、財務情報だけでなく、企業価値の向上や企業ビジョンへの共感につながる幅広い非財務情報をウェブサイトで情報発信する必要性が急速に高まっています。

当社では、これまで国内の上場企業が提供する株主・投資家向け広報（以下、「IR」）サイトランキング調査を13回実施し、企業の情報発信について定点観測を続けてきました。こうした調査のなかでも、ESG投資を念頭に置いた情報発信の拡大がここ数年における顕著な傾向として挙げられます。とはいえ、ESGサイトは、先行するIRサイトとは異なり、情報発信の内容や手法に企業ごとに大きなばらつきが存在し、まさに黎明期とも言えます。そのため、当社では、長年IRサイトランキング調査で蓄積したノウハウやデータを活用し、そのウェブサイトの使いやすさや情報の充実度を目的とした「ESGランキング」調査を実施しました。

調査項目は「ウェブサイトの使いやすさ」「ESG共通」「E（環境）」「S（社会）」「G（ガバナンス）」の5つの切り口から成り、主要ユーザーである株主・投資家だけではなく、幅広いステークホルダーの視点を盛り込んで設定しました。これらを当社アナリストが評価を行い、総合的に優れたESGサイトのランキングを決定します。

「Gomez ESGサイトランキング2020」上位10社は、以下のようになりました。

順位	得点	会社名
1位	8.46	リコー
2位	8.28	積水化学工業
3位	8.16	伊藤忠商事
4位	8.11	三井化学
5位	8.04	東レ
6位	7.92	アサヒグループホールディングス
7位	7.87	ＭＳ＆ＡＤインシュアランスグループホールディングス
8位	7.85	みずほフィナンシャルグループ
9位	7.84	コニカミノルタ
10位	7.68	資生堂

※「Gomez ESGサイトランキング2020」（2020年8月24日発表）
※11位以下の総合ランキング結果はGomezのWEBサイトをご覧ください。

【総評と ESG サイトのトレンド】

・86 社を 2020 年「ESG サイト優秀企業」に選定

「Gomez ESG サイトランキング 2020」ノミネート企業 118 社のウェブサイトから、総合得点 6.00 点以上に贈られる「ESG サイト優秀企業」に今年度は 88 社が選定されました。

今回が初となる ESG サイトランキング調査は、5 つのカテゴリから構成され、総合得点だけでなく、５つのカテゴリにおいても得点と順位の算出を行っています。調査結果の特色としては、殆どのノミネート企業において各カテゴリ得点・順位に大きなばらつきがある点が挙げられます。特定のカテゴリの結果が大きく足を引っ張って、総合得点・順位を下げているというケースも散見されます。

・SDG s やマテリアリティについて

SDG s への賛同を掲げる企業は 108 社（91.5%）、特定した重要課題（マテリアリティ）について掲載している企業は 96 社（81.4%）と、いずれも ESG において特に社会的な注目度の高い項目であることから、多くの企業が積極的な情報掲載を行っていました。一方で、SDG s について自社の目標や取り組みについて具体的に記載している企業は 46 社（39.0%）、重要課題（マテリアリティ）ごとに実績評価指標を具体的に掲載している企業は 38 社（32.2%）に留まり、具体性を持った目標、取り組みや評価の記載が課題となっています。

・外部評価について

外部評価についてとりまとめた専用ページをもつ企業は 83 社（70.3%）となりました。

個別の指数参入について掲載している企業は、指数毎に全企業の 32.2%～64.4%となっています。多くの企業が、受賞歴や指数参入といった第三者的な評価について、各分野において一定の条件達成を客観的に証明するツールとして有効活用していることがうかがえます。また、こうした情報は、ユーザーにおいても、企業を調査・評価する際の基準として有力な情報であるため、まずは専用ページを設け、ロゴと合わせて掲載することを推奨します。更に、トップページにもロゴを掲載することで、多くのユーザーに向けて訴求することに成功している事例もあります。

・BCP(事業継続計画)やテレワーク（在宅勤務）について

新型コロナウイルス（COVID-19)に因る影響から、BCP プラン（事業継続計画）やテレワーク（在宅勤務）は、より一層注目が高い項目となっています。しかしながら、BCP（事業継続計画）について具体的に掲載している企業は 60 社（50.8%）、テレワーク（在宅勤務）について掲載している企業は 34 社（28.8%）に留まります。現時点では、一時的な対応としてトップページやニュースリリースで情報掲載している場合も、将来的にはコンテンツとして掲載することを推奨します。特にこうした社会的な注目度が高い項目をウェブサイトに掲載することは、取引先や従業員、またそれらの関係者等に対しても改めて周知できる機会でもあるため、掲載箇所や掲載方法について工夫が必要です。

・動画の活用

ESG サイトでは、動画活用について、まだ発展途上と言えます。ESG サイトに動画を掲載している企業は 29 社（25.4%）となります。掲載している場合は、ESG トップページに SDG s やサステナビリティに関する戦略を紹介する動画を掲載しているケースや、社会貢献に関する特定の取り組みを動画で解説するケースが一般的です。動画による情報発信は相対的に訴求力が高く、積極的な掲載を推奨します。

・ウェブサイトの使いやすさについて

メニューに「ESG」「CSR」「サステナビリティ」が含まれている企業は 116 社（98.3%）となっています。これは、殆どの企業が、ESG 等に関する情報を企業情報や IR 情報と同程度の重要性を有すると認識している証跡と言えるでしょう。一方で、ESG サイトと既存の企業情報サイトや IR サイトとの関係において、ウェブサイト上の動線に改良が必要と思われるケース、デザインが統一されていないケース、情報の掲載箇所に改善が必要なケース等も見られました。ESG サイトに限りませんが、ユーザーの利便性へ配慮したサイト設計、サイトデザインが重要です。

【トピックス】

ESG サイト　カテゴリー別上位 5 社：ウェブサイトの使いやすさ

順位	得点	会社名
1 位	9.54	三菱重工業
2 位	9.21	小松製作所
3 位	9.14	丸井グループ
4 位	8.87	オムロン
5 位	8.82	ヤマハ発動機
5 位	8.82	オリエンタルランド

ESG サイト　カテゴリー別上位 5 社：ESG 共通

順位	得点	会社名
1 位	9.60	第一生命ホールディングス
2 位	9.12	積水化学工業
3 位	9.10	大阪瓦斯
4 位	9.07	伊藤忠商事
4 位	9.07	コニカミノルタ

ESG サイト　カテゴリー別上位 5 社：E（環境）

順位	得点	会社名
1 位	8.49	東レ
2 位	8.39	日本郵船
3 位	8.10	双日
4 位	8.02	パナソニック
5 位	8.01	三井化学

ESG サイト　カテゴリー別上位 5 社：S（社会）

順位	得点	会社名
1 位	9.73	みずほフィナンシャルグループ
2 位	9.47	日本電気
3 位	9.24	ヤマハ
4 位	9.20	東芝
5 位	9.19	三井物産

ESG サイト　カテゴリー別上位 5 社：G（ガバナンス）

順位	得点	会社名
1 位	9.52	リンテック
2 位	9.02	島津製作所
3 位	8.95	ＳＵＢＡＲＵ
4 位	8.88	リコー
5 位	8.62	伊藤忠テクノソリューションズ

※6 位以下の各カテゴリーランキング結果は Gomez の WEB サイトをご覧ください。

【調査概要】

調査期間	◆ 2020 年 4 月 1 日～2020 年 6 月 30 日まで ◆ ランキング結果は、2020 年 5 月 1 日時点の各サイトに基づいています。
調査対象	◆ 2019 年 IR サイトランキング本選ノミネート企業（362 社） ◆ 当社では、全上場企業を対象とする IR サイトランキング調査を毎年実施しております。当該調査においては、IR 情報ならびに会社情報やサステナビリティ情報について約 10 程度からなる予備調査を行い、一定基準を満たす企業を本選ノミネート企業として選出し、最終調査を行っています。 ◆ 今回の ESG サイトランキング調査では、総合的に基礎項目を備えた企業を調査対象とする目的から、直近の IR サイトランキング調査において本選ノミネートを達成した企業を調査対象としました。
調査手順	◆ 上記の調査対象企業について約 17 項目の予備調査を行い、一定基準を満たす企業を最終調査にノミネート。 ◆ ノミネート企業を132の調査項目からなるスコアカードに基づいて、当社のアナリストが実際にWEBサイトを使用しながら調査を行い、総合ランキングを決定。 ◆ 総合得点が6.00点以上の企業を「**ESGサイト優秀企業**」として選定しています。その際、総合10位以内の企業を「**ESGサイト最優秀企業**」として、選定いたします。

【評価方法】

カテゴリ名称	評価内容
ウェブサイトの使いやすさ	情報の見つけやすさや各コンテンツの見やすさ・使いやすさ、さらにアクセシビリティ基準への対応状況や表示速度等を総合的に評価します。Gomez ランキングの根幹となるカテゴリです。
ESG 共通	企業情報サイトや ESG サイトにおいて、自社のビジネスに照らし合わせた ESG に対する考え方や取り組みをどのように情報発信しているのかを総合的に評価します。客観的な評価指標の 1 つとして、外部評価やイニシアチブについても重要視しています。
E（環境）	環境への取り組みを評価するカテゴリです。気候変動、水質保全、資源循環等の各分野での取り組みや数値データ等の開示状況を評価します。
S（社会）	社会への取り組みを評価するカテゴリです。ステークホルダーや社会貢献活動の対応状況や人事制度や労働環境について評価します。
G（ガバナンス）	ガバナンスに関する取り組みを評価するカテゴリです。コーポレートガバナンスや、内部統制に関する考え方や取り組みを評価します。

Gomez について

Gomez は、インターネット上で提供されるサービスを中立的な立場から評価・分析し、インターネット利用者の利便性向上と E コマース市場などの拡大に貢献するための情報提供・企業向けのアドバイスを目的とし、消費者・企業双方に対して利益となる情報を掲載しています。

Gomez は、モーニングスター株式会社ゴメス・コンサルティング事業部により運営されています。

【本件に関するお問い合わせ】

モーニングスター株式会社ゴメス･コンサルティング事業部　森澤
電話：03-6229-0680　FAX：03-3589-7963　E メール：gomez-info@morningstar.co.jp